

沖歯発第 192 号  
平成29年9月13日

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会  
会長 真境名 勉  
沖縄県歯科技工士会  
会長 儀間 武司  
(公印省略)

平成29年度歯科医療従事者技術向上支援研修会（歯科技工士向け）のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、本会では昨年に引き続き地域医療介護総合確保基金を活用して、超高齢者社会に突き進む中、多様化する歯科医療に対するニーズに対応できる歯科医療従事者を支援することを目的とした、標記研修会を開催することとなりました。

つきましては、沖縄県歯科医師会事務局へFAXにて（098-996-3562）お申し込み下さいますよう宜しくお願い致します。

歯科技工士、歯科医師の多数のご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

## 記

講演会：平成29年10月28日（土）午後6時30～午後9時

演 題：『Necessity of conventional prosthetic dentistry with digitization』  
～デジタル化を活かすために必要な従来の歯科技工技術の応用～

講 師：株式会社 S.T.F 代表 藤松 剛先生

講演抄録：裏面記載

実 習：平成29年10月29日（日）午前10時～午後1時

実習内容：

ジルコニアのシンタリングステインテクニック（チャンズリキッド使用）

実習定員：**20名** ※先着順

講 師：株式会社 S.T.F 代表 藤松 剛先生

場 所：沖縄県口腔保健医療センター 二階 大研修室

南風原町字新川218-1 TEL098-996-3561

対 象 者：歯科技工士・歯科医師・歯科衛生士・歯科助手

参 加 費：無料

申込締切：平成29年10月23日（月）※厳守

申込方法：裏面の申込用紙にて沖縄県歯科医師会事務局へFAX（098-996-3562）で申込をお願いいたします。

■講演抄録

デジタル化への進歩がめざましい現在の歯科の状況を、海外の情報を通じて国内の臨床にどう活かしていくかを中心に私自身の考えをお伝えするとともに、従来の歯科技工の技術と知識の重要性をデジタルワークフローと重ねて説明させて頂こうと思います。

■実習内容（※定員20名）※聴講のみ参加可能

ジルコニアのシンタリングステインテクニック（チャンズリキッド使用）

※実習受講者準備品

筆記用具

---

平成29年度歯科医療従事者技術向上支援研修会（歯科技工士向け）申込書

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

所属名〔 \_\_\_\_\_ 〕

■講演会（10/28）

申込者名〔 \_\_\_\_\_ 〕

〔 \_\_\_\_\_ 〕

■実習（10/29）※実習参加、聴講参加のどちらかをお選びください。

・実習参加                      ・聴講参加

申込者名〔 \_\_\_\_\_ 〕

・実習参加                      ・聴講参加

申込者名〔 \_\_\_\_\_ 〕

※連絡先

TEL（ \_\_\_\_\_ ） FAX（ \_\_\_\_\_ ）

**沖縄県歯科医師会事務局FAX（098-996-3562）**